

小野田・厚狭郡・宇部市医師会合同 女性医師の会 第6回小野田・厚狭郡医師会 女性医師の会総会

いとう眼科クリニック

伊藤 忍

今年（平成29年）6月30日（金）ソル・ポニエにて小野田・厚狭郡・宇部市医師会合同女性医師の会ならびに第6回小野田・厚狭郡医師会女性医師の会総会が開催されました。今回は初めて宇部市医師会と合同で開催することになりました。

そもそのきっかけは私が参加した三つの医師会の集まりでのことです。以前から宇部市医師会でも女性医師の会を開催しているものの参加者が少なく毎回頭を悩ませているとお話がありました。そこで毎年開催している私達の小野田・厚狭郡女性医師の会の内容をお話したところ、例年宇部の参加人数は少ないので一度ぜひ一緒にさせて欲しいとお申し出がありました。持ち帰って相談してみようとお返事していた最中に、ほろ酔い気味（？）の矢野会長と西村会長が現れ、それは良い、是非そうしようと話は盛り上がり、あっという間に、合同開催の話が決定したのでした……。

当初、宇部市医師会からの参加は少ないだろうと思われていましたが、最終的には宇部からの女医の参加は13名、小野田・厚狭郡の女医の15名とほぼ同じ数の参加があり、嬉しい悲鳴となりました。小野田・厚狭郡では今

年も小野田赤十字病院から外科の為佐路子先生が参加して下さり、山陽小野田市の3病院の女医の先生方と今年も連携することができました。山陽小野田市民病院からは産婦人科の藤田麻美先生、消化器内科の安田真弓先生が参加して下さいました。山口労災病院からは消化器内科の戒能美雪先生、麻酔科の佐伯真理子先生、白澤由美子先生、小児科の岡崎咲栄先生、外科の吉田久美子先生、研修医の川谷由紀先生にご参加いただきました。またこの会のOGとして黒川典枝教授も出席して下さいました。開業医はジョイ皮膚科クリニックの西岡和恵先生、小泉明子先生、瀧田祐子先生、てらい内科クリニックの寺井佳子先生、はせがわ耳鼻科クリニックの長谷川朋美先生です。宇部市は興産中央病院から驚くほどのたくさんの女医さんが参加して下さいました。放射線科の森谷和子先生、原田祐子先生、内科・総合診療科の熊谷和美先生、松本翔子先生、多原加奈先生、脳外科の藤井奈津実先生、大野真知子先生、眼科の湧田真紀子先生、皮膚科の林亜矢子先生、そしてセンヒル病院の消化器内科の浜辺崇衣先生、開業医では金子小児科の金子淳子先生、針間産婦人科の金子法子先生、すが眼科の菅順子先



河村会長



西村会長



矢野会長



河合局長



清水院長



望月先生



綿田先生



西岡先生



生が参加してくださいました。女医29名を含めて総勢36名と過去最高の参加人数となりました。今年もお子様を連れての参加者が1名あり、山口県医師会保育サポーターバンクから保育サポーターの方をお願いいたしました。

総会は19：00から開催されました。まず小野田医師会西村公一会長、次に厚狭郡医師会河村芳高会長、最後に宇部市医師会矢野忠生会長にご挨拶をお願いいたしました。

次にこの会の会長である西岡先生から平成28年度の活動報告と会計報告が行われました。続いて会計監査報告が行われて承認されました。

そのあと来賓の方々を紹介させていただきました。まず山陽小野田市病院局長の河合伸也先生にご挨拶を頂きました。次にこの春に着任されました小野田赤十字病院の清水良一院長にお話をいただき、最後に山口大学医学部附属病院医療人育成センター総合診療部黒川典枝教授に挨拶していただきました。

次に宇部市総合政策部理事・総合戦略統括監の望月知子先生による特別講演「働き方改革と地方創世の取組～多様な人材が活躍できる職場作り」が行われました。望月先生は防府市のご出身で、1995年に厚生労働省に入省され2016年より2年間の予定で現職に就任さ

れています。今後の日本の未来についてのお話でした。2016年から政府がソサエティ5.0を5年計画で提唱しているそうです。ソサエティ5.0とは過去の狩猟、農耕、工業、情報社会に続く5番目の「超スマート社会」を目指すというものです。ビッグデータや人工知能を社会のあらゆる分野で活用してより良い社会を作ろうとすることです。最近話題のドローンの無人配送や無人自動車走行もその一環のようです。医療界では、健康寿命の延伸をかねて、遠隔診療や自立支援、福祉分野でのロボット活用、ビッグデータの活用などがあげられているとのことでした。医師の時間外労働についても近く検討が始まるとのことでした。超スマート社会で医療現場の仕事の効率化が進み、医師不足のなか、質の高い医療を確保しつつ、医師の時間外労働を解消しさまざまな働き方を実現していくことが可能になれば良いと感じました。

宇部市医師会副会長の綿田敏孝先生の乾杯で懇親会が始まりました。今回も会費3000円とは思えない豪華なコース料理でした。もち

ろん飲み物にアルコールはなしです。参加人数がいつもに比べて相当に多かったため、この会のメインイベントである、全員参加のガールズ（！）トークで盛り上がる時間が足りないのではないかと大変心配しました。そのため思い切って来賓の先生方には短めの挨拶をして頂きたいと異例のお願いを前もってさせていただきました。ご協力のおかげで、無事例年のように盛り上がる事が出来ました。宇部市から参加して下さった先生からはこの会の成功の秘訣はなんといってもおいしい食事ですねというお言葉をいただきました。「おいしいものを楽しく食べよう」というこの会の一番の目的を今年も十分に達成出来たのではないかと思います。会話の詳細はもちろん秘密です！会の最後に寺井佳子先生による締めめの挨拶をしていただき楽しかった懇親会が終了となりました。

同じ病院内でもなかなか他科の先生同士のつながりが無いとお話をお聞きしました。本音のガールズトークを通じて色々な診療科の同じ診療域の先生同士が顔の見える横へのつながりを広げるきっかけになればと願っております。

今回も大変お忙しい中を今までにない多数の勤務医の先生が参加して下さり、大変感謝いたしております。また準備委員の皆様、

ならびにジョイ皮ふ科クリニックの先生方には開催にあたり多大なご協力を頂き誠にありがとうございました。初めての3つの医師会の合同開催ということで準備段階ではどうなることかと大変心配しておりました。というのも、宇部市医師会の担当理事である金子淳子先生からは女医の会を開催する意義がよく分からないが、とにかく宇部市でも開催せよと指示されたので、まずはどんなものか参加させて欲しいとのスタンスだったからです。しかし開催準備が始まってみると、道に迷いながらも何度も山陽小野田市まで参加して下さり、打ち合わせをしながらのガールズトークと&お茶会をかさね、女性医師の会の終了後には今後の宇部市医師会での活動の方向性が見えてきたとおしゃって下さいましたので、我々役員一同は一緒に開催したかいがあったと嬉しく思いました。会長の西岡和恵先生には3つの医師会と連携するという例年以上に大変なご苦勞をおかけいたしました。西岡先生のあらゆる方面への細やかな配慮と素晴らしいリーダーシップのおかげで、無事に開催することができました。本当にお疲れ様でした。

最後になりましたが、小野田医師会、厚狭郡医師会そして宇部市医師会の皆様のご支援によりこのような会を開催することができました。この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

